

年度:2019年 LOM番号:0342

【褒賞申請書】

事業名称	5月公開例会 410年間続く地域文化を後世に ～酒田まつり再興計画～
カテゴリー	最優秀LOM地域社会向上プログラム部門

申請LOM	東北地区 山形ブロック協議会 酒田青年会議所
LOMの人数	65名
理事長名	若村 光司
担当者名	齊藤剛士
担当者携帯番号	080-3328-6482
事務局住所	山形県酒田市緑町 19-25
事務局TEL	0234-24-9192

本事業の参加者	会員数	50名
	関係者数	100名
	一般参加者数	2000名以上
事業実施に至る背景 400文字程度	当会議所では、1969年から地域最大の祭事である山王例大祭 酒田まつりに様々な形で携わってきました。若者の県外流出が増え続ける酒田市では、この地域文化を担っていく若者が年々減少しています。400年以上、1度も欠かすことなく続けてきた伝統を守り繋いでいくためにも、過去から受け継がれてきた地域の文化に触れ、郷土を愛する心を改めて、将来、地域を担う世代に感じてもらいたいと考え事業実施に至りました。	
事業目的 400文字程度	対外: 其々の立場から地域の伝統文化について考え、自ら意欲的に行動する人財へ成長する機会を創出することを目的とします。 対内: 創始の想いを理解するとともに、メンバー一人ひとりが酒田まつりやその他の事業を成功に導く力を育成することを目的とします。	
SDG'sの該当項目	(SDGsの該当項目を記載) 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを	

<p><b>事業概要</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>酒田まつり本まつり山車行列(午前中立て山鉾巡行と午後の山車巡行)にて、酒田市内・遊佐町内に住む小学5・6年生100名と立て山鉾及び日吉丸巡行を行います。</p> <p>○立て山鉾巡行参加(酒田まつり本まつり参加)のルールとして衣装を統一していただきます。</p> <p>・黒か紺のズボンに無地の白Tシャツ、足袋(黒か紺)または派手でないスニーカーに半纏(当会議所で保管している子ども用半纏と酒田まつり実行委員会で保管している半纏を貸し出し)</p> <p>■より統一感のある、また、他団体の模範となる立て山鉾及び山車巡行を演出するためにクラウドファンディングを利用します。</p> <p>本年はクラウドファンディングを活用し小学生高学年用の衣装統一の資金を募ります。</p> <p>クラウドファンディングについては寄付型で「All or nothing」で実施。</p> <p>※第1目標金額を60万円に設定、第2目標金額を155万円に設定します。(第1目標金額を達成以降「All-in」と同じような取り扱いが可能)</p> <p>※第1目標金額60万円達成で40着、第2目標金額155万円達成で100着の子ども用まつり衣装を用意できます。</p> <p>■クラウドファンディング達成で購入する衣装について</p> <p>○股引き(紺色)</p> <p>○腹掛け(紺色)</p> <p>○鯉口(白色)</p> <p>○足袋(紺色)</p>																				
<p><b>開催期間・タイムスケジュール</b></p>	<table border="1"> <tr> <td>参加依頼文・チラシ配布</td> <td>3/19～3/25</td> </tr> <tr> <td>参加者募集期間</td> <td>3/25～4/19</td> </tr> <tr> <td>クラウドファンディング公開期間</td> <td>3/19～4/22</td> </tr> <tr> <td>参加者選考日</td> <td>4/22・4/23</td> </tr> <tr> <td>参加者への連絡日</td> <td>4/23～4/26</td> </tr> <tr> <td>衣装の発注</td> <td>4/24</td> </tr> <tr> <td>衣装の納品</td> <td>5/15まで</td> </tr> <tr> <td>事前説明会兼衣装配布</td> <td>5/16 19:00～</td> </tr> <tr> <td>酒田まつり本祭り</td> <td>5/20</td> </tr> <tr> <td>クラウドファンディング御礼状・報告書発送期間</td> <td>6/1～6/10</td> </tr> </table>	参加依頼文・チラシ配布	3/19～3/25	参加者募集期間	3/25～4/19	クラウドファンディング公開期間	3/19～4/22	参加者選考日	4/22・4/23	参加者への連絡日	4/23～4/26	衣装の発注	4/24	衣装の納品	5/15まで	事前説明会兼衣装配布	5/16 19:00～	酒田まつり本祭り	5/20	クラウドファンディング御礼状・報告書発送期間	6/1～6/10
参加依頼文・チラシ配布	3/19～3/25																				
参加者募集期間	3/25～4/19																				
クラウドファンディング公開期間	3/19～4/22																				
参加者選考日	4/22・4/23																				
参加者への連絡日	4/23～4/26																				
衣装の発注	4/24																				
衣装の納品	5/15まで																				
事前説明会兼衣装配布	5/16 19:00～																				
酒田まつり本祭り	5/20																				
クラウドファンディング御礼状・報告書発送期間	6/1～6/10																				

開催場所	酒田中心市街地 山車行列巡行ルート	
事業区分	継続	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支	予算計:800,000円 支出計:1,290,000円	
協力団体	共催	なし
	協賛	なし
	後援	なし
	その他	なし
事業対象者	酒田市内の小学校5・6年生 100名、酒田まつりに何らかの形で携わる市民	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>[募集] 酒田市内の小学校へ参加依頼文を発送して参加者の募集を行いました。</p> <p>[クラウドファンディング] オール山形のクラウドファンディングサイト「山形サポート」(READY FOR 運営)にて目標金額60万円でクラウドファンディングスタート。60万円達成後にネクストゴールを設定して1094000円の寄付をいただいた。(クラウドファンディング終了後の酒田 JC 会館へ持ち込み寄付含む)</p> <p>[衣装の発注] 最終金額確定後、子ども用まつり衣装を発注。</p> <p>[事前説明会・衣装の配布] 各参加小学校の引率担当者へ酒田まつり・立て山鉾の歴史と酒田 JC の取り組みについて説明を行い、当日の衣装を配布した。</p> <p>[5月20日] 揃いの衣装を身に纏った子ども達約80名と一度は失われたものの、酒田の礎を築いてきた先人達が大切に守り伝えてきた高さ22、36m の立て山鉾を巡行。</p>	
結果 (RESULT)	自分たちが生まれ育つ地域の財産に触れてそれぞれが伝統文化について考えることができました。また、来年以降も何らかの形で酒田まつりに関わっていきたく強い意思表示をしてくれました。	
	2008年の立て山鉾復活から場所は違えど、立て山鉾巡行を行ってきまし	

<p><b>地域社会への影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>た。しかし、いつも引き手を担うのは大人だけ。子ども達にとっては毎年見るものであった立て山鉾と言う地域文化に自らの手で携わったことでこの地域の将来へ影響を与えたことは確信しています。</p>
<p><b>LOMへの影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>酒田 JC では1996年に高さ6mの山鉾を復元させてから長年、山鉾事業を展開してきました。2008年に高さ20mの立て山鉾を復元して、毎年欠かさことなく、多くの皆様のご尽力をいただきながら立て山鉾を製作・建設してきました。しかし、継続してきた山鉾がこの先どのように進んでいくのか？そんな疑問を抱えているメンバーも少なくないでしょう。今回の事業を通して視点を広げることができたと考えています。</p>
<p><b>事業の長期的な影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>継続事業として取り組んできた山鉾事業ですが、酒田 JC 単体で行っていくのは困難です。そのためにもこの先の地域を牽引していかなければいけない世代に歴史・文化を継承していくことで持続可能な、また、地域独自の発展につながります。</p>
<p><b>考察や推奨</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>今回購入した子ども用まつり衣装を、次年度以降、立て山鉾巡行用衣装として繋いでいきたいと思えます。具体的な方法は検討中ですが、毎年5月20日酒田まつり本祭りでは、子ども達が立て山鉾を引き回す文化を作っていきたい。それが郷土を愛する心を育む運動になります。</p>
<p><b>改善点</b></p>	<p>委員長が会社都合で理事を辞任したため、全てのスケジュールが過密になりました。特にクラウドファンディングは、ページの作成から公開、募集期間が短く本当の目標であった155万円には届きませんでした。</p> <p>本当であれば、立て山鉾の前後を100名以上の子ども達で埋め尽くしてほしいです。</p>
<p><b>JCI活動計画の推進</b>  <b>JCI VISION活動計画の推進</b>  <b>JCI MISSION活動計画の推進</b></p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p>
<p><b>添付資料</b></p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>新聞記事1部  地元広報誌記事1部</p>

## < 410年間続く地域文化を後世に ～酒田まつり再興計画～ > < 5月公開例会 >

公益社団法人酒田青年会議所は2019年5月20日月曜日に「5月公開例会」を<酒田市中心市街地 山車巡行ルート>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この5月公開例会は地域の伝統文化について考え、自ら意欲的に行動する人財へ成長する機会を創出することを目的として開催されました。自分たちが生まれ育つ地域の財産に触れてそれぞれが伝統文化について考え、来年以降も何らかの形で酒田まつりに関わっていきたくて多くの声をいただくことができた結果、目的を達成する事ができました。

### < 5月公開例会 >とは？

#### 詳細な事業内容

期日：2019年5月20日

会場：酒田市中心市街地 酒田まつり本祭り巡行 巡行ルート  
(事業内容)

#### [募集]

酒田市内の小学校へ参加依頼文を発送して参加者の募集を行いました。

#### [クラウドファンディング]

オール山形のクラウドファンディングサイト「山形サポート」(READY FOR 運営)にて目標金額60万円でクラウドファンディングスタート。60万円達成後にネクストゴールを設定して1094000円の寄付をいただいた。(クラウドファンディング終了後の酒田JC会館へ持ち込み寄付含む)

#### [衣装の発注]

最終金額確定後、子ども用まつり衣装を発注。

#### [事前説明会・衣装の配布]

各参加小学校の引率担当者へ酒田まつり・立て山鉾の歴史と酒田JCの取り組みについて説明を行い、当日の衣装を配布した。

#### [5月20日]

揃いの衣装を身に纏った子ども達約80名と一度は失われたものの、酒田の礎を築いてきた先人達が大切に守り伝えてきた高さ2236Mの立て山鉾を巡行。

写真1



写真2



写真2



